

健康登山03: 自然歩道02(忍頂寺～善峰寺)

| | | | | | |
|--------|---|--|---|-----------------------|---|
| コース | 忍頂寺 1.2km/41 1.1km/23 山寺 2.8km/77 | 竜王山 3.1km/82 撰津峡 1.3km/30 ポンポン山 2.9km/62 | 竜仙ノ滝 2.7km/76 上ノ口 1.9km/32 善峰寺 3.4km/48 | 萩谷総合公園 3.3km/74 灰方 | 本 |
| 水平距離 | 23.7km | | 断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km | | |
| 水平換算距離 | 27.3km | | | | |
| 累計高低差 | 登り1288m、下り1536m | | | | |
| 標準歩行時間 | 9:05 | | | | |
| 実績歩行時間 | 9:00 | | | | |



山行報告

山行日 2005・08・04(木) 天候 晴 参加者 7名

行動 阪急茨木駅8:07 忍頂寺9:25 竜王山10:00 車作大橋10:51 竜仙ノ滝11:11 萩谷総合公園12:31~13:17 撰津峡13:38 上ノ口14:02 神峰山寺15:06 本山寺16:06 ポンポン山17:14 杉谷18:00 善峰寺18:20 灰方19:05 東向日駅19:40

記録

東海自然歩道の2回目は水平距離24km、水平換算距離27km、歩行時間9時間で夏場に歩くには長距離コースである。ただし、途中上ノ口から高槻へ下山できるエスケープルートがある。上ノ口までなら水平距離9.6km、水平換算距離12km、歩行時間4時間で少し物足りない感じがする。阪急茨木駅に集合し、バスで忍頂寺へ行き、いつもの通り準備体操をして出発した。今日のコースは忍頂寺バス停前から竜王山への200mの登りから始まる。山頂には立派な展望台が造られていて広い範囲を見渡せる。ここから車作集落へ300mの下りとなる。車作という名前は天智天皇の時代に良質のケヤキを使って御所車をつくり献上したことに由来するという。車作大橋から萩谷までは健脚コースと一般コースに分かれるが健脚コースを選んだ。その理由は山越えの健脚コースは山裾を巻く一般コースより短く、30分歩行時間を短縮できることと、木陰で暑さが緩和されると考えたからである。竜仙ノ滝を経て200mの急な登りを越えると萩谷集落である。萩谷で一般コースと合流し、萩谷総合公園まで下り公園のベンチで昼食を摂った。昼食後、撰津峡を通り上ノ口に着いたときは14時で、ここで高槻下山組と分かれた。KIも病後で大事をとって下山し、HRさんとI0さんの二人だけがポンポン山へ向った。神峰山寺、本山寺を経て17時過ぎにポンポン山に着いている。猛暑の中、この舗装路の登りはかなりきつかったと思う。HRさんは次のように書いている。『午後5時12分やっとポンポン山山頂に立つ。西陽の当る京都市街のパノラマ眺望が今までの暑さを完全に忘れさせてくれたひと時であった。善峰寺経由で灰方まで一気に下山、灰方バス停到着は陽が完全に沈んだ時刻であった。』各コースの特徴をHRさんが名所旧跡ミニガイドとしてまとめているので併せて見てほしい。

東海自然歩道 (忍頂寺～善峰寺)



忍頂寺出発
09:29

竜王山展望台
09:59



権内水路から
車作集落
10:35

竜仙ノ滝
11:11



萩谷総合公園
にて
13:17

摂津峡
13:37



上ノ口バス停
14:07

神峰山寺山門
15:06



本山寺
16:06

ポンポン山
17:14



名所・旧跡ミニガイド（東海自然歩道：忍頂寺～ポンポン山）

忍頂寺：江戸時代に入って領主小田切土佐守の採助を得て再興（本堂、庫裏、鐘楼、山門など）平安初期清和天皇の勅願寺として僧三澄によって創建された。当時は寺領も多く、織田信長の援助などで栄えたがキリシタン伝播のため、キリシタン大名高山右近に焼かれ衰微した。今は寿命院と五輪塔が残っている。

キリシタン遺物資料館：大正末期から昭和初期にかけて、数々のキリシタン遺物*が多く見つかかり研究、保存するために解説、展示されている。

*『上野マリヤ』と刻まれた墓石。1600年（慶長8年）の年号、千提寺集落のクリス山墓地にあり、隠れキリシタン発見のキッカケとなった。

宝池寺ほうちじ：八大竜王を祀っている。数々の石仏や祠がある。

竜王山：510m、大阪平野が一望でき、晴天に恵まれれば大峰山系など大和の山々まで一望できる。

経塚碑：清水廃寺

車作集落くるまつくり：良質のケヤキが産出され、車や建築の材として利用され、天智天皇の時代に御所車を造って献上したことからこの地名となった。

深山水路：別称権内水路、水争いを引きおこすため工事は落ち葉や芝草で隠して行ったという。200年ほど前、庄屋の畑中権兵衛（権内）が独力で造った水路。

竜仙滝：落差13mで涼やかな風が歩き疲れた体に心地よいが涸れることが多い。

摂津峡：摂津の耶馬溪、約2km。奇岩と流水の美しさで知られる。

三好山：別称城山180m、摂津峡屏風岩の東に位置し、室町時代三好長慶が出城を築いたと伝えられる。三好長慶は室町幕府最後の武将で、管領細川晴元の臣だったが天文18年（1549）主君晴元を追放した下克上の祖。

神峰山寺かぶさんじ：光仁天皇の第一皇子開成皇子が初代の座主で光仁天皇の分骨塔、開成皇子の理髪塔がある。建立は7世紀末、役行者が日本で初めて造ったという4体の毘沙門天の1体を祀っている。他の3体は鞍馬寺、信貴山、本山寺とか。楓の多い境内に懸崖造りの堂宇が立つ。

本山寺：豊臣秀頼が再建し、徳川綱吉の生母桂昌院によって改修された。役行者が葛城山で修行中に五色に輝く雲に導かれてこの地に開いた寺。

ポンポン山：679m二等三角点。力強くシコを踏むとポンポンと足音が響くところから、この名がついたといわれる。正式名は加茂勢山。

杉谷集落：標高480mにある山間の静かな集落。

三鉢寺：浄土宗西山派の根本道場。境内背後の山が仏具の三鉢に似ているため三鉢寺と改称。善峰寺の開基である源三上人の隠居所。山腹に位置し展望がよい。

十輪寺：『なりひら寺』平安時代の歌人在原の業平が晩年隠棲したと伝えられる。